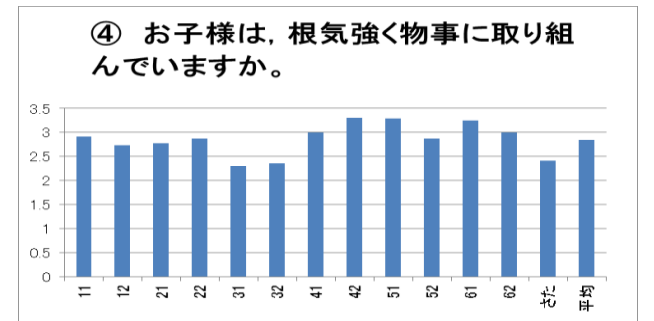
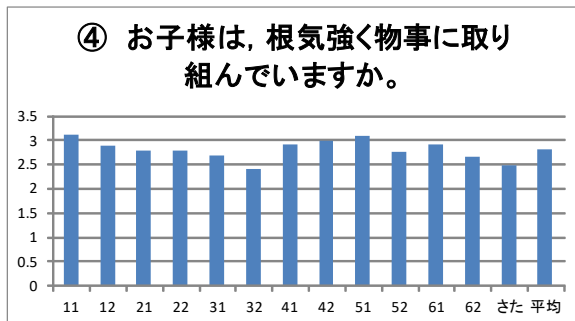
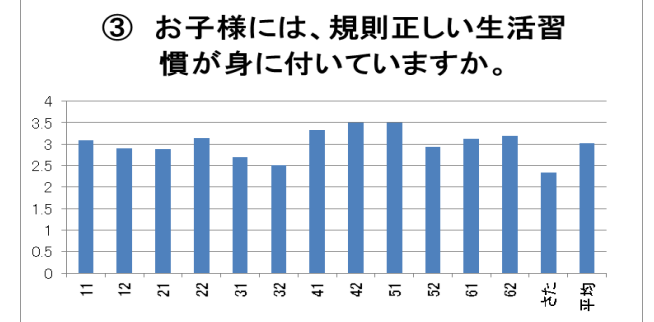
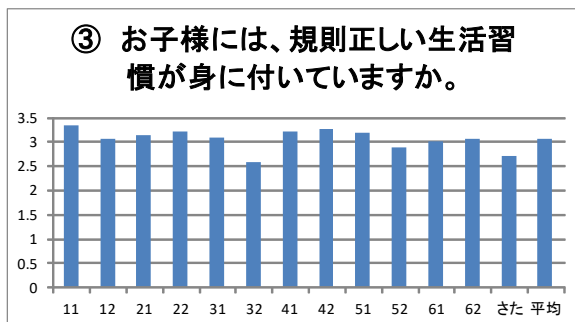
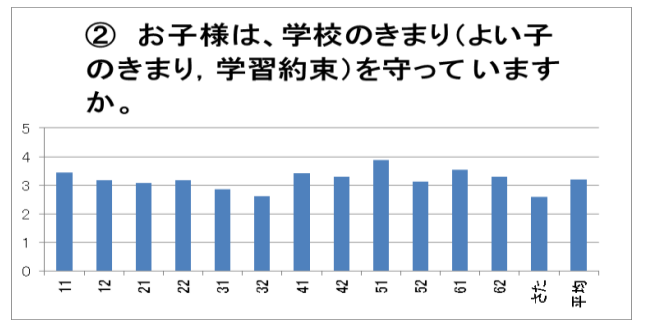
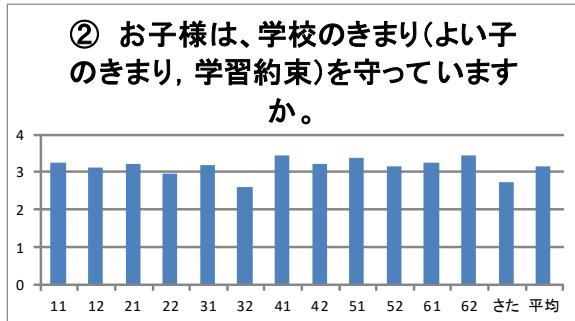
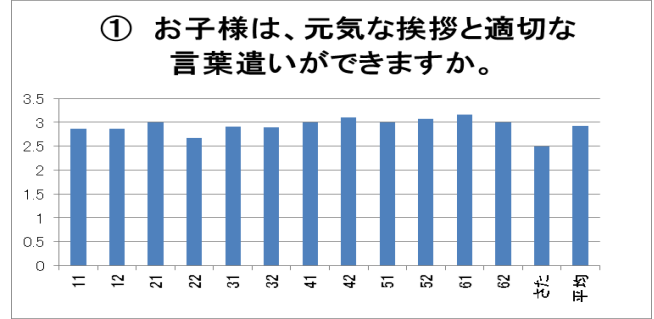
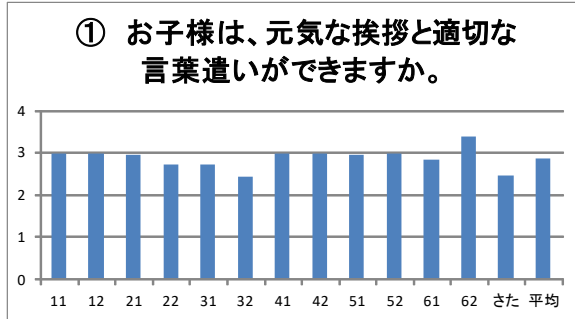


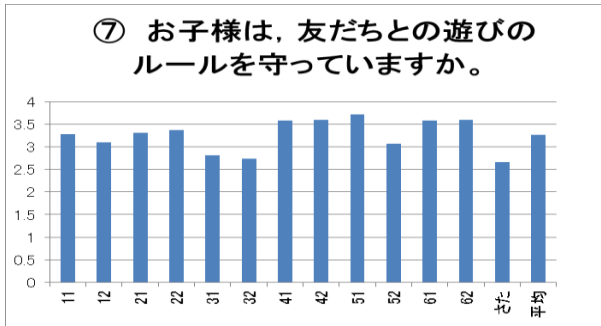
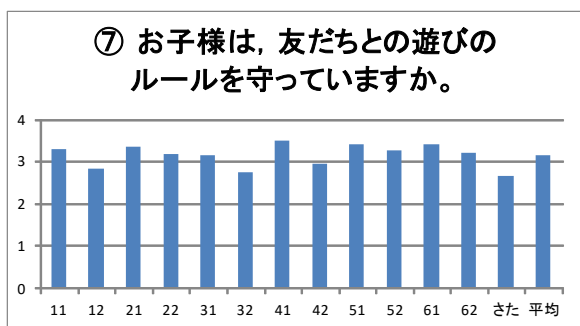
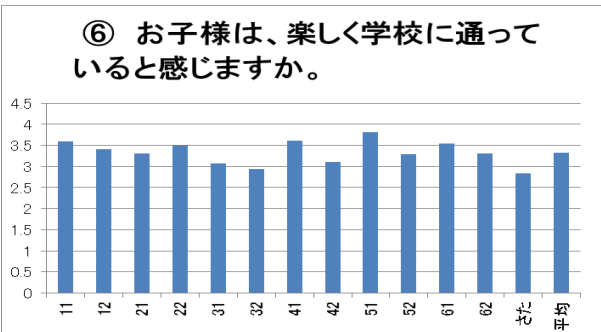
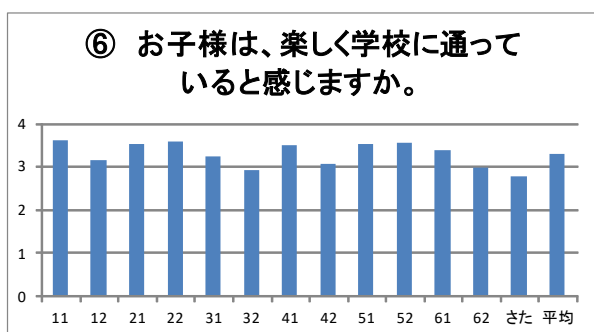
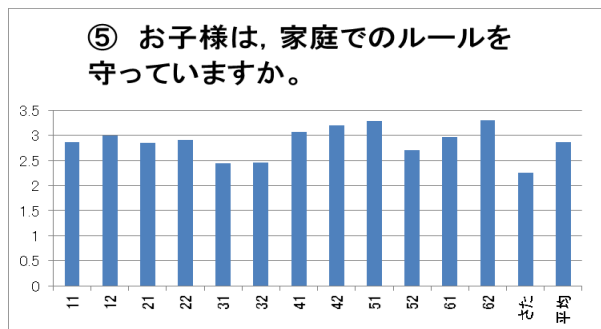
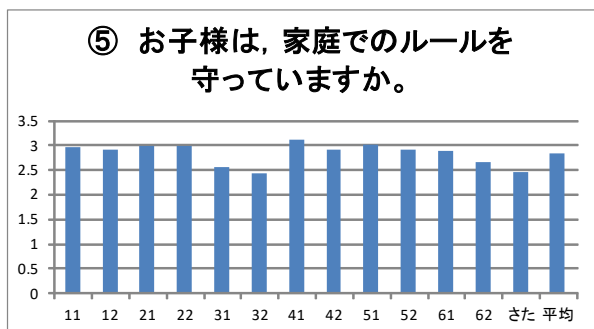
平成29年度学校評価のまとめ

平成29年度 1回

平成29年度 2回

1 ゆたかに（徳）について





どの項目も、児童のアンケート結果は、保護者のアンケート結果より良い評価が得られている。自己評価が客観的な（保護者アンケート）より良いということは、当然甘い見方をしていると言える。①、④、⑤は、保護者アンケートの結果が平均3を下回っているものでもある。

① について

よい子のきまりに掲げている「二小ちゃんテーマの②元気にみんなにあいさつをします。」は本校の児童があるべき姿の4つの姿の1つである。平成28年度末より3回のアンケート結果より徐々に良い評価が得られてきている。しかし、適切な言葉遣いに関しては、友だちへの思い遣りが欠けている声かけも見られ、根気強く指導していく必要がある。

また、教師側自身も言葉遣いについては、児童とともに、ことあるごとに振り返りが必要である。なぜなら、「二小ちゃんテーマ」は児童と教職員のテーマであるからである。

④について

平成28年の保護者アンケート結果と比較して、良い評価結果が得られてはいる。

3、4、5学年の経年評価は良くなっており、児童の努力の結果である。最後まで、諦めずに取り組もうとする姿勢が随所に見られるようになってきた現れでもある。

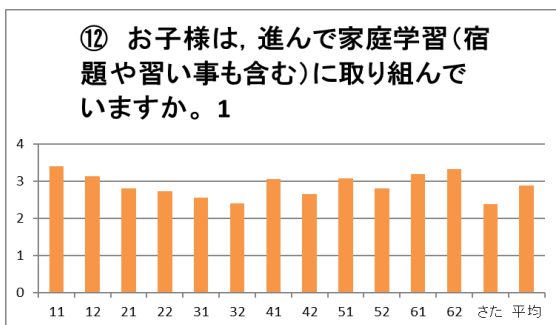
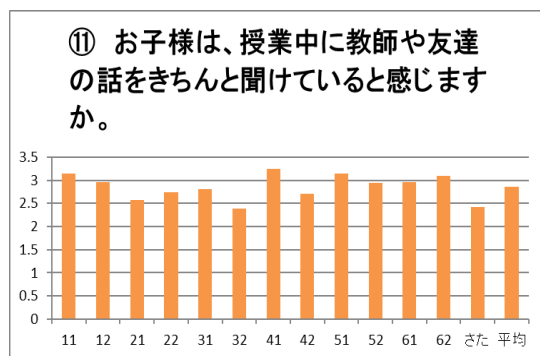
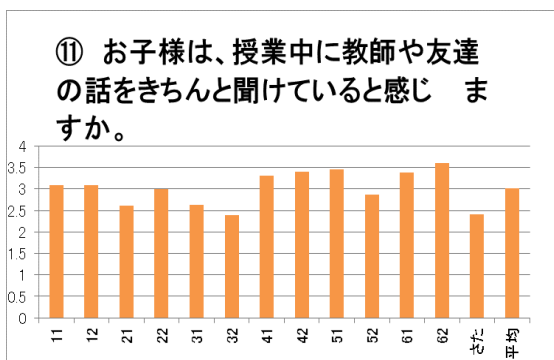
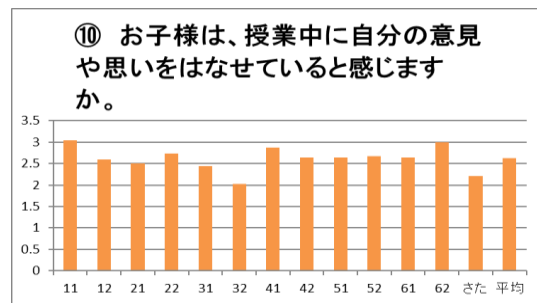
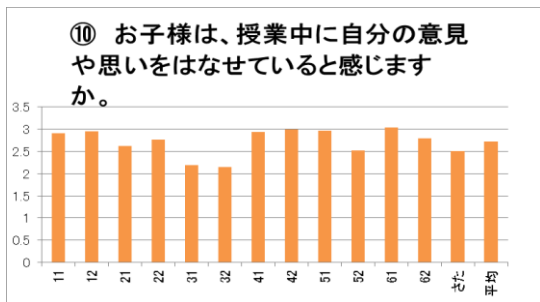
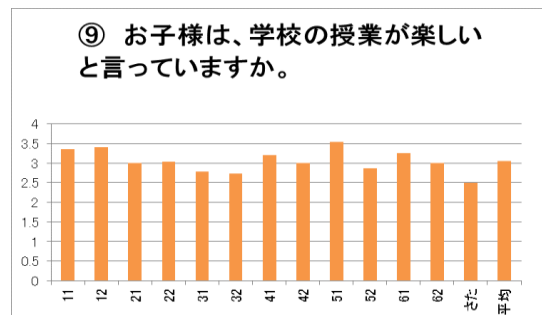
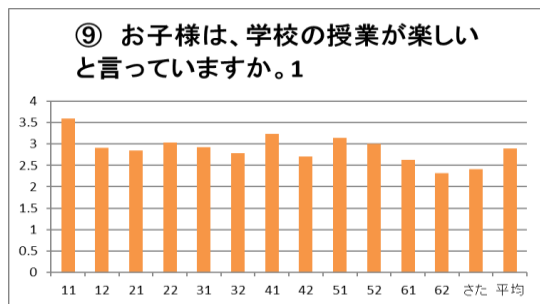
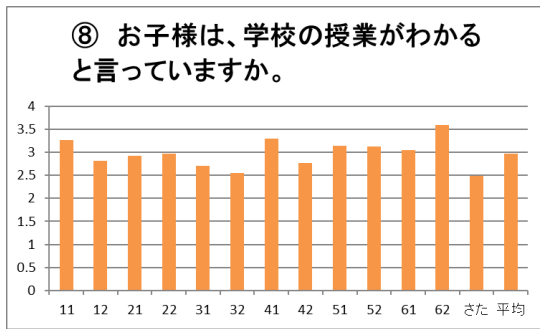
学習面では基礎力を定着させることにより、少し難しさをともなう課題に取り組もうとする粘りが出てきている。継続して取り組んでいきたい。

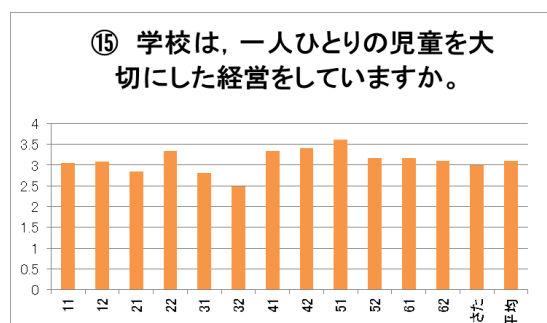
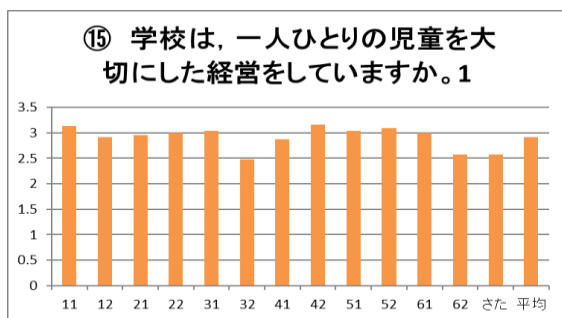
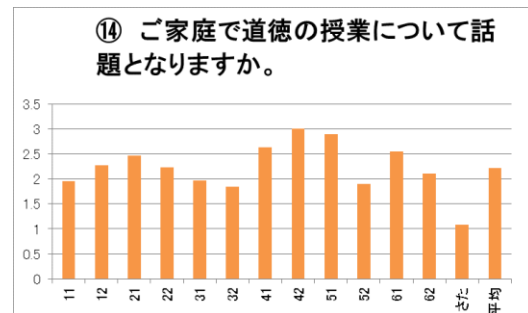
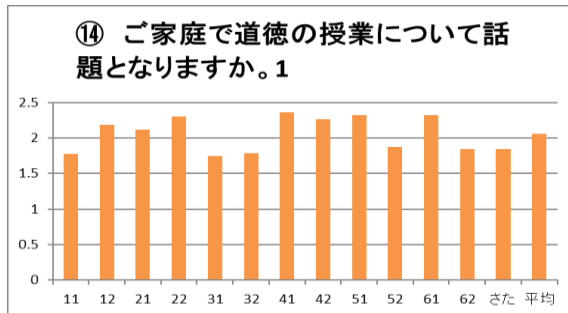
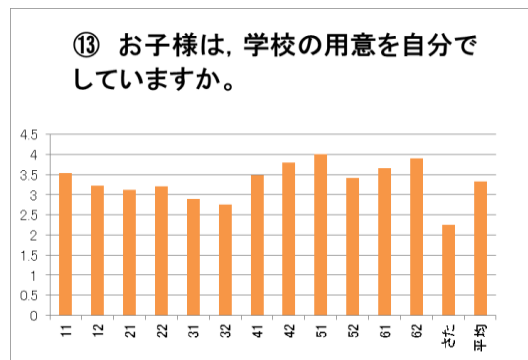
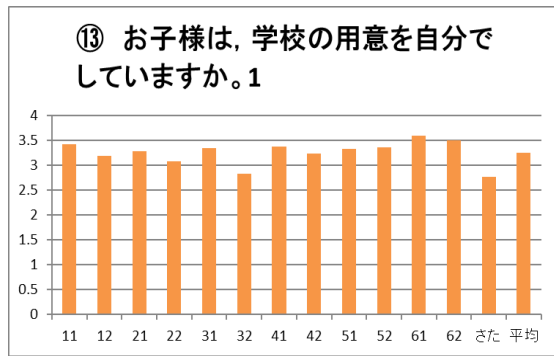
⑤について

昨年度、現5学年の評価が低かったが、良い評価が得られている。現6学年も昨年度と比較して、良い評価を得ている。現3学年は、発達段階とも言えるが、多少低下気味である。

家庭としての最低限のルール「おはようございます。ただいま。いただきます。お休みなさい。」は許さぬところとして、励行していただくことをお願いしたい。

2 かしくく（知）について





⑩の「自分の意見や思いをはなせているか」と⑭の「家庭で道徳の授業が話題にあがるか」の評価が、それぞれ2,7と2,2であり、改善が必要な課題である。

⑭に関しては、来年度より道徳が「特別な教科道徳」として教科化されることを踏まえての家庭での興味関心を高めていただくための質問である。

⑩に関しては、応用的な課題であるといえる。従って、ここを伸ばしていくためには、土台である基礎力をしっかりと高めていく必要がある。その土台がしっかりとて、⑨の「学校の授業が楽しい」という感覚の高まりもより得られるはずである。

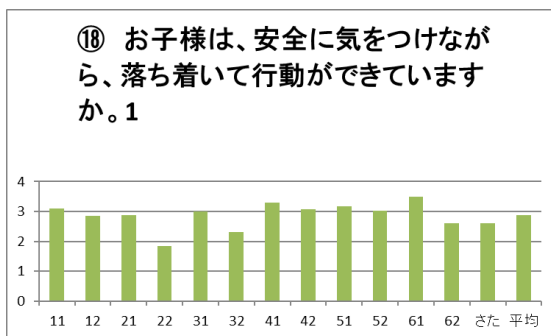
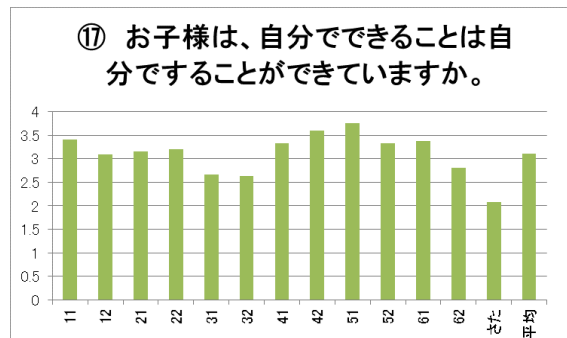
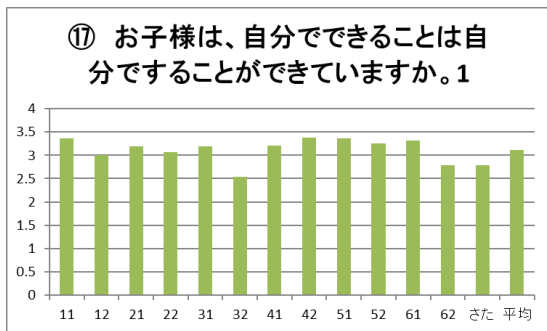
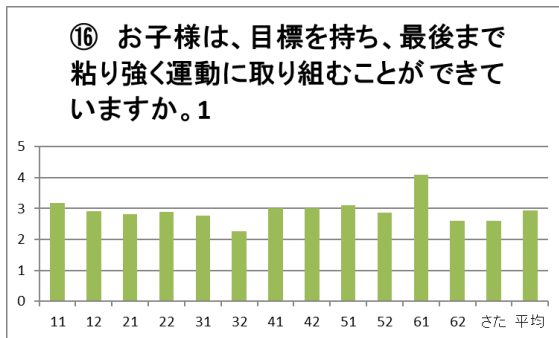
次年度は、生きる力を高めるための学習の土台作りに以下のことを徹底して行う。

- 算数の教科書の例題に習熟すること。
- 各学年の進出漢字の徹底的に習得すること。
- 国語の教科書の音読、群読による内容理解の促進。
- 外国語におけるアルファベットの大小文字の習得。

⑮については、児童一人一人の見取りをきめ細かく行い、その集団、その個人に必要な指導・支援を充実させていくことにつける。

平均は1学期より若干上がり、3であるが、次年度は3.5を達成させたい。

3 たくましく（体について）



安全面での評価は、保護者の皆様、地域の方々のご指導・ご支援により、大きな事故もない状態である。1学期に比べて2学期末のアンケートでは若干上向きであるが、なかなか児童には深く伝わっていないという状態である。

登下校時に、道路一杯に広がって歩く、ポケットに手を入れて歩く、上着を腰に巻いて歩く、交差点での左右確認を怠る、放課後の自転車の乗り方等、繰り返し指導することは、たくさんある状態である。

危険な行為に関しては、遠慮なく大人が声をかけていくことをお願いしたい。